

景観と緑の美しい三好のまちづくりに関するアンケート〈結果〉

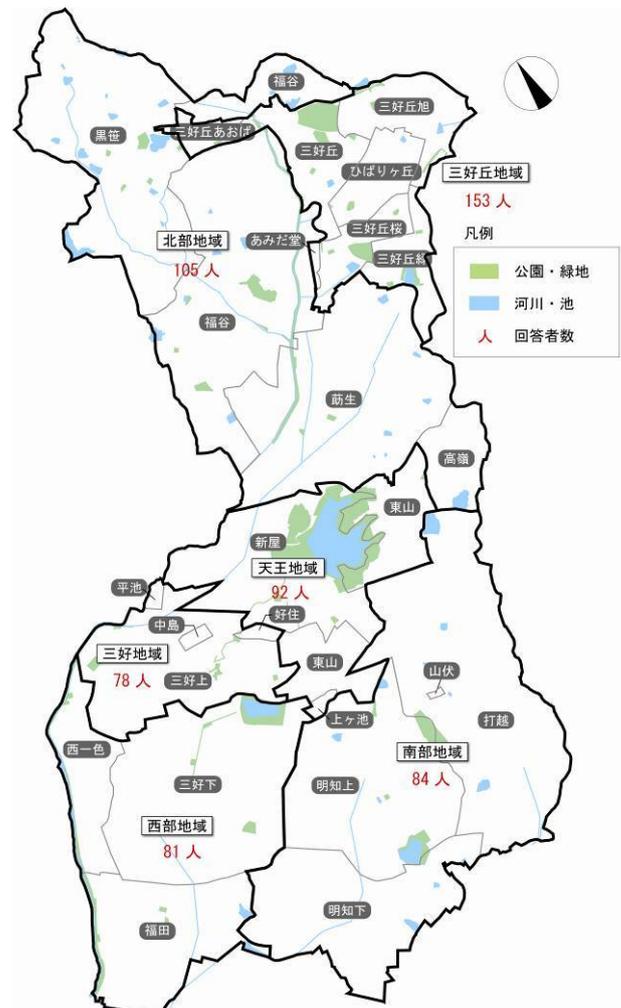
1. 調査概要

- ◆調査目的：美しい三好のまちづくりをめざすにあたり、街の「景観」と、その重要な部分の「緑」に関して、町民の意見を踏まえ、本町の景観づくりや緑の創出、公園づくりなどを計画的に進めるための基礎資料とすることを目的とする。
- ◆調査対象：三好町在住の20歳以上の町民1,100名（住民基本台帳による無作為抽出）
町役場都市計画課窓口100通
- ◆調査実施：平成19年9月（9/7発送、9/30回答締め切り）
- ◆回答結果

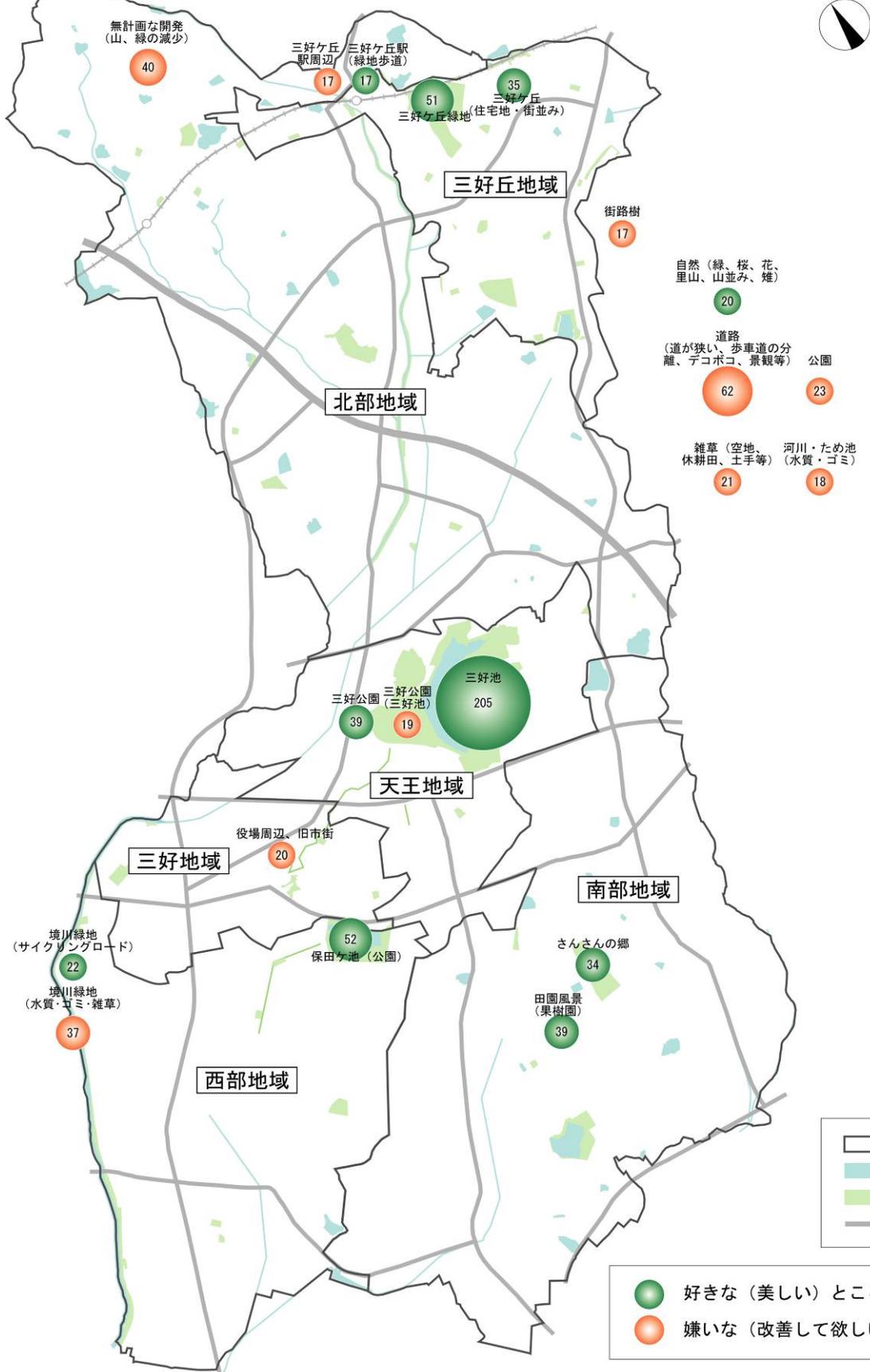
	発送対象	回収数	回収率
郵送	1,094（不通6除く）	551	50.4%
役場窓口	100	55	55.0%
計	1,194	606	50.7%

2. 回答者属性

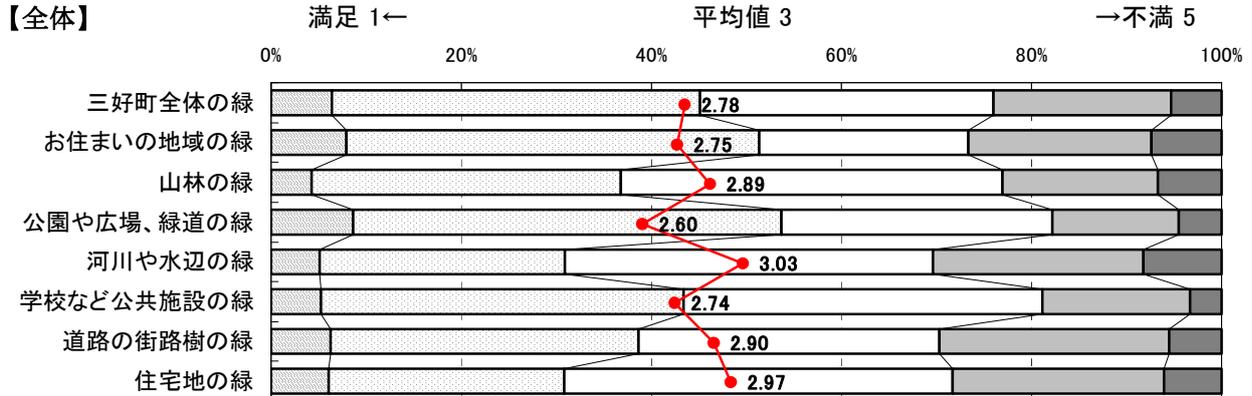
- 【性別】 男性256（42%）、女性334（55%）
で女性がやや多い。※不明16（3%）
- 【年齢】 40歳代（22%）が最も多く、次いで60歳代・50歳代と続き、概ね各年代バランスのとれた構成となっているが、20歳代（8%）の回答がやや少ない。
- 【職業】 会社員・公務員・団体職員が約4割を占め、次いで専業主婦・主夫、パート・アルバイト・派遣社員等の順となっている。
- 【行政区】 在住の行政区について得た回答を地域別にまとめたところ、三好丘地域の割合がやや高いものの、全体にバランスのとれた回答を得ることができた。
- 【居住歴】 30年以上の居住者が4割を超え、20年～30年未満を加えると、6割近くが20年以上の居住歴がある。



三好町の景観について、好きな(美しい)ところ、嫌いな(改善して欲しい)ところ



5. 緑の豊かさ（多さ）について



【全体】 「公園や緑地」は比較的満足度の高い結果となったが、「河川や水辺」は、満足に感じている人が少なかった。

【北部】 「公園や緑地」「河川や水辺」「道路の街路樹」「住宅地」で全体に比べて不満度が高かった。

【三好丘】 「お住まいの地域」「公園や緑地」「道路の街路樹」「住宅地」で全体よりも満足度が高くなっている。

【天王】 「公園や緑地」は満足度が高いが、「お住まいの地域」「住宅地」は目立って不満度が高い。

【三好】 「道路の街路樹」で満足度が高く、「お住まいの地域」「住宅地」は不満度が高い。

【西部】 「河川や水辺」「学校などの公共施設」を除き、すべての項目で全体より不満度が高かった。

【南部】 「山林」の不満度が目立って高かった。

6. 三好町の緑について、今後も緑を残していきたいところ、緑を増やして欲しいところ

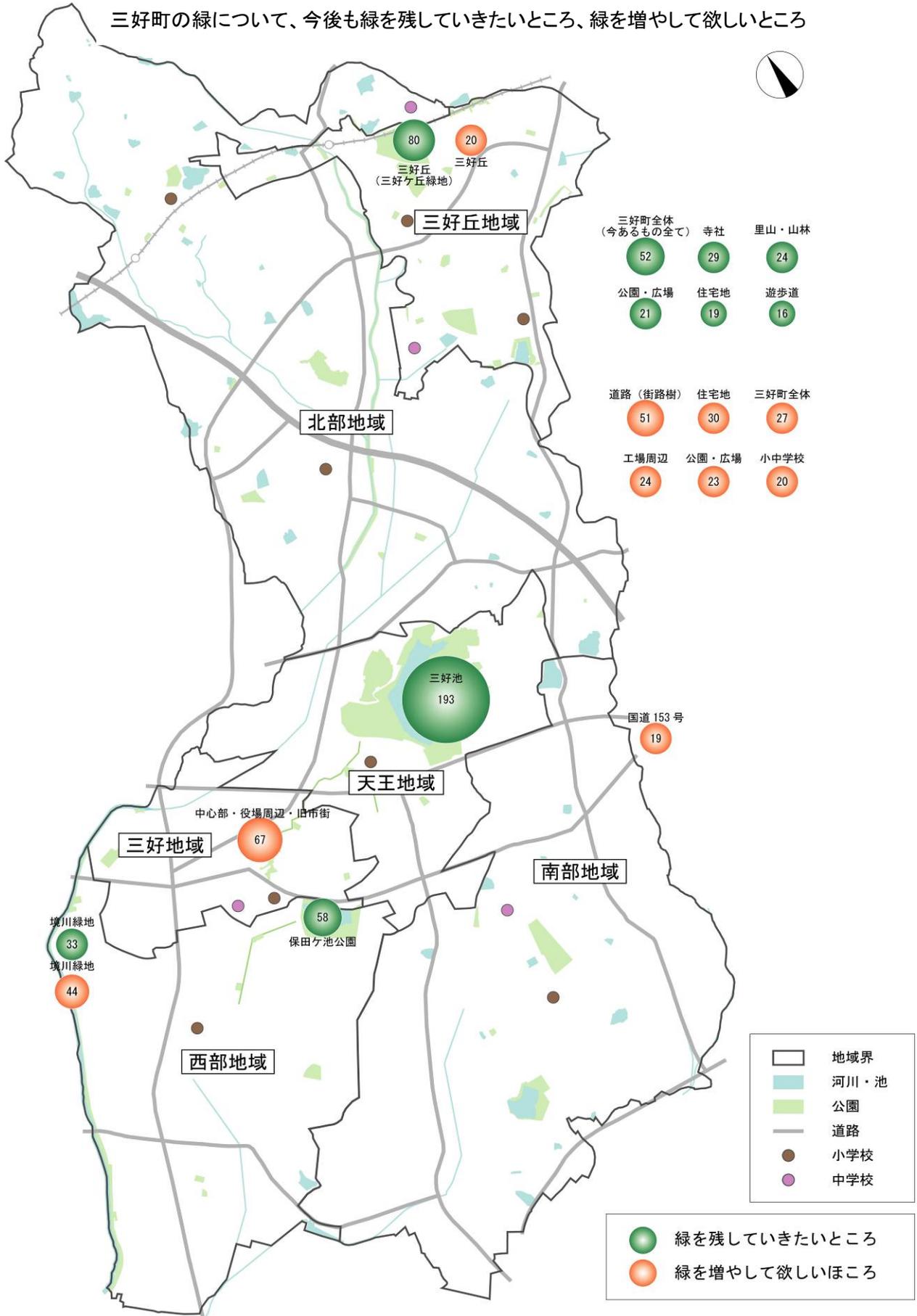
◎ 緑を残していきたいところ

	項 目	件数
1	三好池	193
2	三好丘(三好ヶ丘緑地)	80
3	保田ヶ池公園	58
4	三好町全体(今あるもの全て)	52
5	境川緑地	33
6	寺社	29
7	里山・山林	24
8	公園・広場	21
9	住宅地	19
10	道路(遊歩道)	16

◎ 緑を増やして欲しいところ

	項 目	件数
1	中心部・役場周辺・旧市街	67
2	道路(街路樹)	51
3	境川緑地	44
4	住宅地	30
5	三好町全体	27
6	工場周辺	24
7	公園、広場	23
8	三好ヶ丘	20
8	小・中学校	20
10	国道153号線	19

三好町の緑について、今後も緑を残していきたいところ、緑を増やして欲しいところ



7. 美しい景観づくりをおこなっていくために、大切だと思うこと

【全体】

選択肢(3つまで)	件数	0%	10%	20%	30%	40%	50%
1. 色やデザインが統一感のあるまちなみ	95					16.0%	
2. 建築物や工作物の高さや形	47			7.9%			
3. 屋外広告物(看板)の大きさ・形・デザイン	56			9.4%			
4. 川や水面をきれいにする	233					39.2%	
5. 花や緑の多い公園や緑地を増やす	210					35.4%	
6. 電柱や電線類の地中化	136					22.9%	
7. 現存する緑の手入れ、管理	255					42.9%	
8. 自転車や違法駐車のを放置を防ぐ	112					18.9%	
9. 道路の街路樹を増やす	132					22.2%	
10. 資材やごみの不法投棄や放置を防ぐ	279					47.0%	
11. 田や畑の手入れ、管理	86					14.5%	
12. 特になし	5					0.8%	
13. その他	13					2.2%	
無回答	16					2.7%	
計	1,675						

【全体】 ほぼ半数の人が「資材やごみの不法投棄や放置を防ぐ」と回答し、次いで「現存する緑の手入れ、管理」「川や水面をきれいにする」がそれぞれ4割程度の回答を得た。

【北部】 「現存する緑の手入れ、管理」「川や水面をきれいにする」よりも「花や緑の多い公園や緑地を増やす」と回答する人が多かった。

【三好丘】 全体とほぼ同様の結果となった。

【天王】 「現存する緑の手入れ、管理」を大切だと考える人が最も多かった。

【三好】 「資材やごみの不法投棄や放置を防ぐ」と回答した人が半数を超えた。

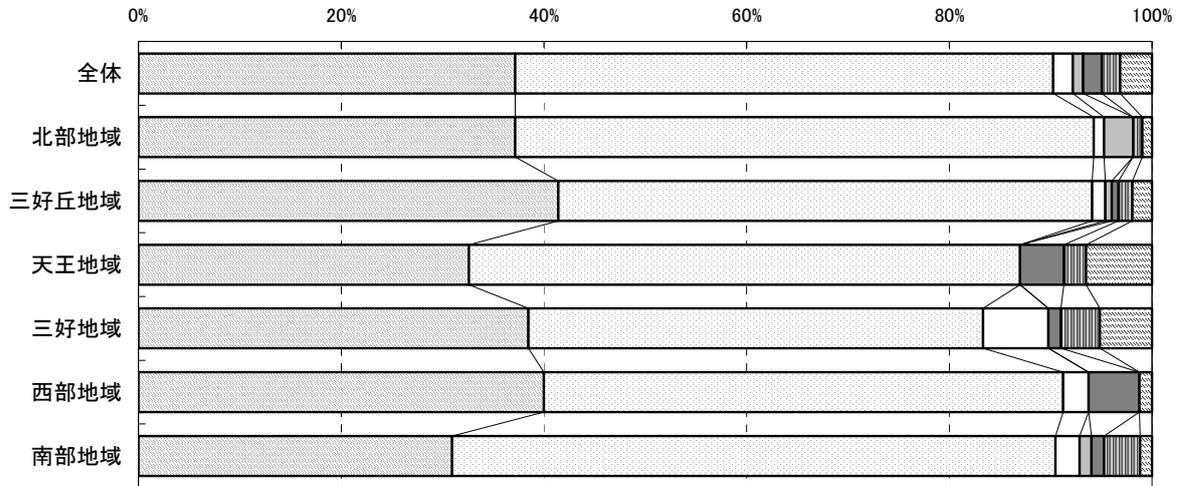
【西部】 「資材やごみの不法投棄や放置を防ぐ」「現存する緑の手入れ、管理」「川や水面をきれいにする」がほぼ同数の回答を得た。

【南部】 「現存する緑の手入れ、管理」が半数の回答を得たが、3位の「川や水面をきれいにする」の割合は比較的低かった。

◎上位3位の傾向

地域	1	2	3
全体	10. 資材やごみの不法投棄や放置を防ぐ	7. 現存する緑の手入れ、管理	4. 川や水面をきれいにする
北部	10. 資材やごみの不法投棄や放置を防ぐ	5. 花や緑の多い公園や緑地を増やす	7. 現存する緑の手入れ、管理
三好丘	10. 資材やごみの不法投棄や放置を防ぐ	7. 現存する緑の手入れ、管理	4. 川や水面をきれいにする
天王	7. 現存する緑の手入れ、管理	4. 川や水面をきれいにする	
		10. 資材やごみの不法投棄や放置を防ぐ	
三好	10. 資材やごみの不法投棄や放置を防ぐ	4. 川や水面をきれいにする	5. 花や緑の多い公園や緑地を増やす
西部	4. 川や水面をきれいにする	7. 現存する緑の手入れ、管理	
		10. 資材やごみの不法投棄や放置を防ぐ	
南部	7. 現存する緑の手入れ、管理	10. 資材やごみの不法投棄や放置を防ぐ	4. 川や水面をきれいにする

8. 緑の保全や緑化の取り組むべき方向について



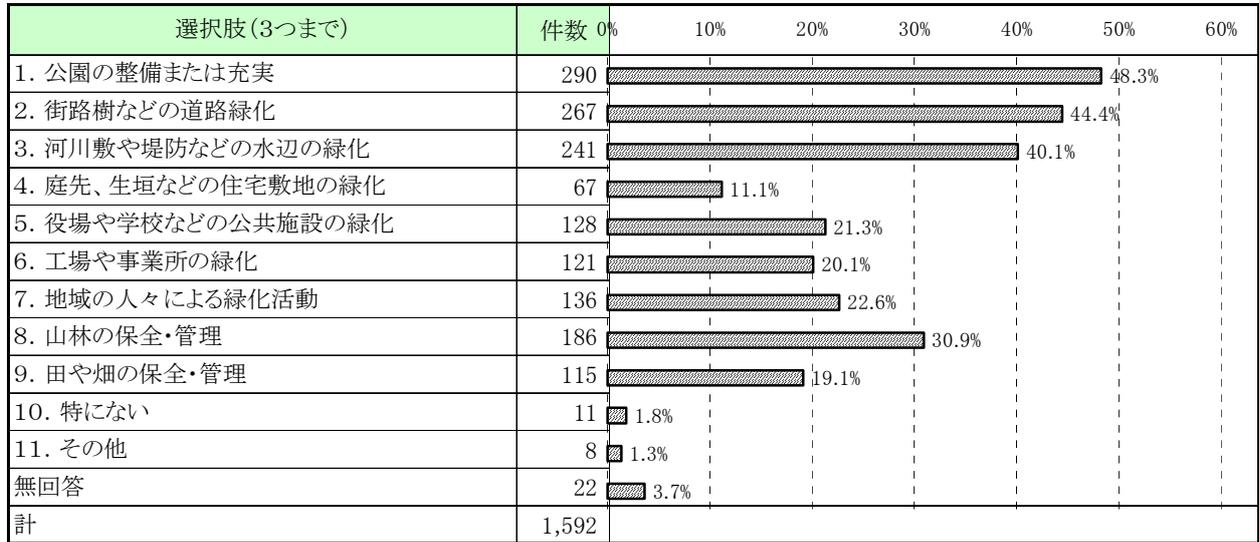
- 積極的に緑を増やしていくべきである
- 少なくとも現状を維持していくべきである
- 特に保全する必要もなく、自然のなりゆきにまかせる
- 開発を優先させ、緑が減るのはやむをえない
- わからない
- その他
- 無回答

【全体】 少なくとも現状維持していくべきである」が5割以上、「積極的に緑を増やしていくべきである」が4割近くあり、ほとんどの人が緑の保全と緑化の推進を必要と感じている。

【地域別】 地域による傾向の顕著な違いはなく、全地域で8割以上の人々が、緑の保全と緑化の推進を必要と感じている。

9. 緑の保全や緑化に取り組むために重点をおくべきだと思うこと

【全体】



【全体】 「公園」「街路樹」「水辺」がそれぞれ4割以上の回答を得た。

【北部】 「水辺」が5割を超え、次いで「山林」「公園」「街路樹」の順となっている。

【三好丘】 「公園」「街路樹」が5割、「水辺」が4割を超え、上位3位が他項目より目立って多い。

【天王】 「公園」が5割以上、「街路樹」が4割以上の回答を得た。

【三好】 全体同様「公園」「街路樹」「水辺」がそれぞれ4割以上の回答を得た。

【西部】 「公園」「街路樹」「水辺」の上位3位のうち、「公園」がやや高い割合となった。

【南部】 「公園」「街路樹」「山林」の順となった。

10. どのように利用できる公園が欲しいか

【全体】

選択肢(3つまで)	件数	0%	20%	40%	60%	80%
1. スポーツ・レクリエーションのできる公園	189			31.3%		
2. さんさんの里のような貸し農園のある公園	56		9.3%			
3. 自然の川や山林をいかした公園	317				52.6%	
4. 地区のお祭りやイベントができるような公園	59		9.8%			
5. 防災に役立つ公園	157		26.0%			
6. 幼児や小学生が遊べる身近な公園	238			39.5%		
7. 花がいっぱいの公園	170			28.2%		
8. 散策や休憩・休息のできる公園	400				66.3%	
9. その他	26	4.3%				
無回答	22	3.6%				
計	1,634					

【全体】 「散策や休憩・休息のできる公園」が7割近くと最も多く、次いで約5割が「自然の川や山林をいかした公園」、約4割が「幼児や小学生が遊べる身近な公園」、約3割が「スポーツ・レクリエーションのできる公園」と回答した。

【北部】 概ね全体と同様の傾向となったが、「幼児や小学生が遊べる身近な公園」が5割近くとやや高かった。

【三好丘】 「散策や休憩・休息のできる公園」を望む人が7割を大きく超え、目立って多かった。

【天王】 ほぼ全体と同様の傾向となった。

【三好】 ほぼ全体と同様の傾向となった。

【西部】 概ね全体と同様の傾向となったが、「散策や休憩・休息のできる公園」の割合がやや低く、「幼児や小学生が遊べる身近な公園」の割合がやや高かった。

【南部】 概ね全体と同様の傾向となったが、「スポーツ・レクリエーションのできる公園」の割合が全地域中最も高かった。

11. 美しい景観づくりをおこなうために必要なルールについて

【全体】

選択肢(3つまで)	件数	0%	10%	20%	30%	40%	50%	60%	
1. 美しく住みよい景観づくりのためであれば、建物や敷地に関する、ある程度の規制はやむを得ない。	279								
2. 建物の高さを規制するルール	178								
3. 建物や看板などの色合い(原色は使用しないなど)やデザインなどのルール	205								
4. 看板や広告物などの大きさや設置場所のルール	337								
5. 敷地や塀の緑化のルール	104								
6. 敷地の端から建物の壁までの距離を規制するルール	77								
7. その他のルール	34								
8. 景観づくりのためとは言え、個人の建物や敷地にルールを設けるべきではない。	92								
無回答	39								
計	1,345								

【全体】 回答者の6割近くが「看板や広告物などの大きさや設置場所のルール」が必要だと感じており、5割近くは「美しく住みよい景観づくりのためであれば、建物や敷地に関する、ある程度の規制はやむを得ない」と考えている。

【北部】 回答者の6割近くが「美しく住みよい景観づくりのためであれば、建物や敷地に関する、ある程度の規制はやむを得ない」と考えている。

【三好丘】 全体とほぼ同様の傾向となっているが、「美しく住みよい景観づくりのためであれば、建物や敷地に関する、ある程度の規制はやむを得ない」と考えている人が5割を超えた。

【天王】 回答者の6割近くが「看板や広告物などの大きさや設置場所のルール」、4割近くが「建物や看板などの色あいやデザインなどのルール」が必要だと感じているが、「美しく住みよい景観づくりのためであれば、建物や敷地に関する、ある程度の規制はやむを得ない」と考えている人は比較的少なかった。

【三好】 傾向は全体とほぼ同様となっているが、割合はそれぞれやや低い。

【西部】 全体と概ね同様の結果となった。

【南部】 傾向は全体とほぼ同様となっているが、割合はそれぞれやや低い。

12. 緑を守り、増やしていくために必要な仕組みについて

【全体】

選択肢(3つまで)	件数	0%	10%	20%	30%	40%	50%	60%
1. 生垣や庭木を植える場合に費用の一部を助成する	169				27.9%			
2. 町民が参加しやすい緑化活動を企画する	310						51.2%	
3. 山林を緑化活動の場にできるよう斡旋する	148			24.4%				
4. 町と住民、あるいは、住民同士が緑化について協定を結ぶ	92		15.2%					
5. 町民の緑化活動にかかる費用の一部を助成する	202				33.3%			
6. 緑化モデル地区を指定する	169				27.9%			
7. その他	49		8.1%					
8. 特にない	65		10.7%					
無回答	35		5.8%					
計	1,239							

【全体】 回答者の半数が「町民が参加しやすい緑化活動の企画」、次いで3割程度が「町民の緑化活動にかかる費用の一部の助成」が必要と考えている。

【北部】 回答者の半数が全体同様「町民が参加しやすい緑化活動の企画」と考えているが、次いで3割程度は「町民の緑化活動にかかる費用の一部の助成」と「山林を緑化活動の場にできるよう斡旋する」が必要と考えている。

【三好丘】 全体とほぼ同様の結果となった。

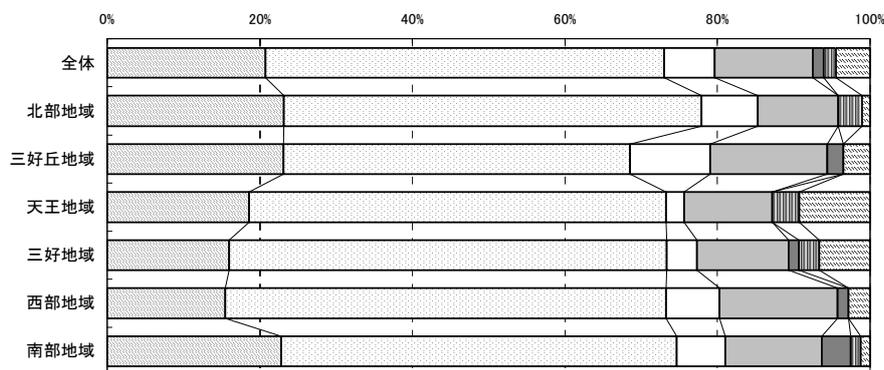
【天王】 全体と似通った傾向となっているが、「山林を緑化活動の場にできるよう斡旋する」ことを必要と考える人がやや多かった。

【三好】 全体とほぼ同様の結果となった。

【西部】 全体とほぼ同様の結果となったが、「緑化モデル地区指定」「生垣や庭木を植える場合に費用の一部を助成」もそれぞれほぼ3割の回答を得た。

【南部】 全体とほぼ同様の結果となった。

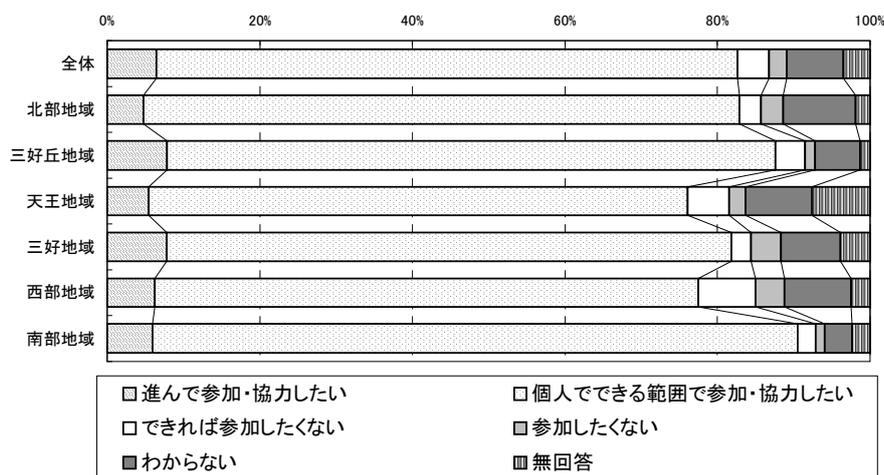
1 3. 地域の活動への取り組み、参加意欲



- 住民、民間企業、行政など地域に関わる人同士の話し合いによる景観のルールづくり
- ゴミを捨てないなどのマナーの向上
- 自分の住んでいる家やその周りを周囲の景観に配慮してつくる
- 地域で定期的に清掃活動などに取り組む
- その他
- 特に活動は必要ない
- 無回答

【全体】 回答者の半数以上が「ゴミを捨てないなどのマナーの向上」と回答し、目立って多い。次いで2割程度が「住民、民間企業、行政など地域に関わる人同士の話し合いによる景観のルールづくり」、1割程度が「地域で定期的に清掃活動などに取り組む」と回答した。

【地域別】 三好丘を除く全地域で半数以上、三好丘でも4割以上が「ゴミを捨てないなどのマナーの向上」と回答し、全ての地域で2割程度が「住民、民間企業、行政など地域に関わる人同士の話し合いによる景観のルールづくり」が必要と感じている。



- 進んで参加・協力したい
- 個人でできる範囲で参加・協力したい
- できれば参加したくない
- 参加したくない
- わからない
- 無回答

【全体】 「個人でできる範囲で参加・協力したい」と「進んで参加・協力したい」をあわせると8割以上が参加の意向を示している。

【地域別】 全地域で7割以上、南部では8割以上が「個人でできる範囲で参加・協力したい」と回答し、全ての地域でまちづくり活動への高い参加意向が示された。